

放課後、毎日一時間以上インターネットやオンラインゲームで遊ぶ子供は二割超。横浜市内の中高生計一万余人が答えた同市思春期問題連絡会（岩室紳也会長）実施の生活実態

調査でこんな結果が出た。中でも、高二は25%近くが一時間以上ネットやオンラインゲームで遊ぶと答え、一時間以上勉強すると答えた20・4%を上回った。（石尾 正大）

日にメールする回数は20%以上を占め、中三は「手段がメールに依存する傾向がうかがえる。」

朝食を毎日とる中高生は「ネットに悪口を書き込んではいけない」と88%が答えたのに対して、まったくとらない中高生は77%。友達へのいじめも、朝食を毎日食べる中高生は88%が「してはいけない」と回答したのに対して、まったく食べない中高生は74%と、朝食の有無で規範意識に差が生じる傾向にあった。

放課後はネット

横浜市内の中高生・生活調査

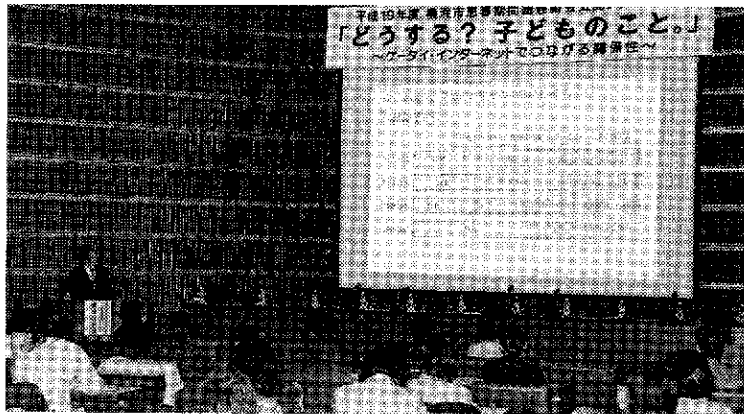
アンケートは昨年九月、市立中十八校の一、三年生、市、県、私立高計十三校の二年生を対象に実施され、一万七千八百十八人が回答した。

ケータイ所持率は中一で68%、高二で97%に上り、インターネットを利用している生徒は中一66%、高二93%に達した。

ネット利用の目的は「趣味・遊びについて調べる」が中学生59%、高校生71%。「音楽やゲームをダウンロードする」が中学生36%、高校生46%、「ブログや掲示板を讀んだり書き込んだりする」が中学生20%、高校生42%だった。「勉強について調べる」は中学生が29%に対し、高校生は12%にとどまった。ケータイやネットで一

多く
強多
割合

1時間以上が2割超



親対象に「子供と会話重要」シンポジウム

横浜市思春期問題連絡会と同市は二十日、同市中区山下町の横浜産業貿易センターで公開シンポジウムを行い、思春期の子供を持つ親など約百人が出席した。

同連絡会は昨年六月に発

とよく会話している子供はま

足。インターネットの専門家や臨床心理士、大学講師らで構成され、青少年や保護者の意見交換会、思春期問題出前講座などを行ってきた。

シンポジウムでは、岩室紳

が開かれ、各委員が「子供は

也会長が「思春期はいま大人に見えない子どもたちの課題」と題して基調講演。同

連絡会が昨年、中・高校生約一万人を対象に実施したアンケートの結果を踏まえ、「親

「思春期はいま大人に見えない子どもたちの課題」と題した岩室会長の基調講演
横浜産業貿易センター